時事新報は日本國中唯一の毎日刊行新聞紙なり

時事新報

第二千三百三十九號　水曜日
明治廿二年七月三日
舊暦巳丑六月六日（庚辰）
日出午前四時三十分　入午後七時五十九分
月出午前八時三十八分　入午後十時十九分
滿潮午前八時二十分　午後八時三十九分
（西暦一千八百八十九年）

時事新報

養蠶家の注意（前號の續）

我國養蠶の前途は前號に述ぶる通りの次第にして今後益々多望あることは疑ふ可きにあらざれば我輩は口を放て其發達進歩を促すものあれども扨て顧みて養蠶地方の實際を見れば其亂暴不始末の情態、人の懸念を惹くものなきにあらず今我國屈指の養蠶地方ある福嶋縣下の事實に就て之を云はんに抑も同地方にて年々の產出高は生絲を始めとして種紙、眞綿、屑物等を合算して其金額凡そ四百萬圓に達す可しと云ふ今この四百萬圓と云へる巨額の金額は取も直さず同縣下養蠶家の手に落ちて民間に散ずるものなれば同地方人民の富饒は他に類あくして年々豐年の觀を呈す可き筈なれどもその地方に到りて實際の景況を尋れば敢て然らざるのみならず事全く反對にして人をして其案外なるに驚駭せしむるものなきにあらず聞く所に據れば同地方養蠶家の收益は事實多からざるにあらずと雖も之に由て富を成したるの談は未だ曾て聞かざる所にして殊に生絲賣買を業とするもの〻如きは年々の損失少なからず其小なるものは破產したるも多く大なるものは僅かに今日の急場を凌ぎて他日の好機を待つの有樣なり生產家の情態かくの如くあるが故に一方に於ては資本家の之が爲めに影響を蒙ることも亦甚しく近年來同地方に金貸を業として貸金滯りの爲めに倒れたるもの甚だ多く特に二三の銀行の如きは閉店に至りたるものある由あるが其實何れも養蠶製絲の實業家に金を貸し其返金の延滯したるに原因するものありと云ふ蓋し其然る所以を尋ぬるに今の世間に於て養蠶製絲の業は一般に大利あるものと認められたる其上に福嶋地方の如きは同業に於ては殆んど專賣特許とも云ふべき場所なるが故に人々この地に向て金を注入することを吝まず前者倒れば後者これに嗣ぐの有樣にして信用の貸借亂行の姿と爲り其金は結局養蠶の農家に落ることなれども古來其地方の弊習として人民に勤儉の念甚だ薄く隨て得れば隨て散ずるの風ありし處に近年西洋舶來品の流行は次第に民間の奢侈を導き衣服飲食等大に其の趣を改め殊に東北鐵道の開通後は東京との往復一層便利を增して其風ます〳〵甚しきを加へ一方に於ては非常の收益ある其一方には奢侈の風に進み其有樣は恰も海濱の人民が漁業の爲めに一時に金を得て一時に之を散ずると一般、前後の勘辨なき其處に今日の流行として世間にては養蠶地方に金を投ずることを憚らざるが故に人民は知らず識らずの間に身分不相應の借財を負ふて返濟を怠るの場合に至り又資本家も中途にして其貸出の不策なるを悟るものあれども之を中止するときは全損に歸せんことを恐れて彼是躊躇する其中に遂に破產の災に罹るものあるも少なからず即ち是れ現今養蠶地方の實情なりと云ふ

右は福嶋地方に就ての所聞にして或は多少誇張の廉あきにあらざる可しと雖も事の大體に至ては實地に徴して疑ある可らず而して此有樣は獨り福嶋地方のみ然るにあらず其他謂ゆる養蠶地方と稱する土地に於ては必ず此現象を見ざるなしと云ふ抑も養蠶事業は前にも述ぶる如く實に我國の富源にして日本の外國貿易も專ら生絲に在りと云ふ程の場合なるに其生產地の情態を見れば右の通りの次第にして其業に從事するもの〻不始末と云ひ又資本の濫用と云ひ言語道斷の限りと云ふ可し凡そ人の富を成すには種々樣々の手段あることならんと雖も詰る所は勤儉の二字に外ならず人にして既に然らば國も亦然らざるを得ず養蠶の利益は甚だ多くして前途の望ます〳〵大なりと雖も人民に勤儉の念乏しく隨て得て隨て散ずるときは如何に莫大の利益ありと雖も國の富を成すの期はある可らず此一點は我輩が天下の識者と共に憂を同うし口を放て養蠶事業の發達進歩を促すと同時に其業に從事する者に向て切に其注意を望む所なり　（畢）

官報

○海軍省令第六號

海軍軍樂生徵募細則左ノ通定ム

明治廿二年七月二日　海軍大臣伯爵西鄕從道

海軍軍樂生徵募細則

第一條　軍樂生ノ徵募ヲ要スルヰハ其人員ヲ告示シ其手續及志願者心得ハ海軍省第一局ヲシテ廣告セシメ志願人ヲシテ海軍軍樂練習所長ニ出願セシム○第二條　海軍軍樂練習所ニ於テハ所長並軍醫志願人ノ身體ヲ檢査シ學術ヲ試驗シ合格不合格ヲ定ム○第三條　志願人ハ身幹五尺二寸以上身體完全强健齒列齊正精神異狀ナキ者ヲ身體檢査合格トシ否サル者ヲ不合格トス○第四條　志願人ノ身體檢査合格者ヲ甲乙ノ二種ニ分チ先ツ甲種合格者ヲ採用シ次ニ乙種合格者ニ及スモノトス○第五條　志願人身體檢査ニ合格シタルトキハ更ニ其學術ヲ試驗ス○第六條　學術試驗ニ於テハ讀書作文算術ノ三科ヲ試驗ス其程度ハ海軍省第一局ヲシテ廣告セシム○第七條　志願人學術試驗ニ合格シタルトキハ二箇月間通學セシメ軍樂發達ノ目途アル者ハ尙四箇月間ノ通學ヲ命シ軍樂發達ノ目途ナキ者ハ直ニ通學ヲ止ム○第八條　志願人通學中ハ修業用物品ヲ官給シ晝夕二度ノ現食ヲ給ス○第九條　志願人六箇月通學ノ後ニ於テ奏樂ノ能否ヲ試驗シ軍樂員ニ堪ユル者ハ所用ノ人員ニ應シ優等ノ者ヨリ順次ニ軍樂生ヲ命シ誓約ヲ爲サシメ軍樂練習所ニ入ラシム○第十條　志願人軍樂生ヲ命セラレタルトキハ本籍市町村長（東京市京都市大坂市ニ在テハ區長）ノ證印アル戶籍明細書ヲ軍樂練習所ニ出ス可シ

各官廳

本月十一日ヨリ來ル九月十日マテ諸官員暑中休暇ヲ賜フ但明治七年（七月）第八十四號達ノ通心得ヘシ

休暇中內閣ニ於テハ要急事務ノ外ハ取扱ヘサルヘシ

明治廿二年七月二日　內閣總理大臣伯爵黑田淸隆

內閣達參照

太政官第八十四號達（明治七年七月三日）
本月十一日ヨリ九月十日迄諸官員休暇ヲ賜候條各[illegible]可致尤休暇中旅行ノ儀モ[illegible]其行先可屆出[illegible]
但各廳共長官ヨリ御用ノ都合見計休暇可申達事

雜報

○諸工場取締法　大坂府下にて蒸氣力を使用する諸製造所工場等續々增加する中には往々危險の工場も少なからねば西村知事が赴任以來是れ等の工場に注意し過日來其筋より加藤屬を派遣し實地に就き取調中なりしが粗取調も終りたれば近日其取締法を設くる都合ありといふ

○大坂鐵道工事の一斑　同鐵道の未成線路中河內國志紀郡柏原村より以東大和國葛下郡櫻井村に至る本線路及同國王寺村より添上郡奈良市に至る支線路の工事は現今四區に分れ夫々着手中なるが和州內平坦の場所は工事の捗取り速なるも河內國國分村より大和國峠村に至る間は大和川の流に沿ひ狹隘ある谷間を經過する事あれば同川筋に四箇の鐵橋を架し尙ほ國分村字柴山に長さ六百尺餘堅上村字龜ノ瀨に長さ九百七十尺の隧道を開鑿せざるべからず尤も柴山隧道は既に貫通したるも龜ノ瀨隧道は目下中央迄掘込みし位ある其上に此邊の岩石は稍や軟質にして崩壞し易く爲めに工事稍や困難の模樣あるも四五十日間には貫通する見込あれば本年中に工事全成して來年一月より大坂、奈良間に汽車の開通を見るを得べしと云ふ

○大日本教育會教育談話室　同會に於ては曩に教育クラブを設置するの計畫ありしが今般彌々同會事務所內書籍館跡に之を設置して教育談話室と稱し該會員をして總て教育に關する會合談話等適宜に之を利用せしむる由なり

○西太后外人の寫眞を求む　淸帝親政の其前まで久しく垂簾の政を行ひたる彼の西太后は此程より嘗て同國に功勞あり或は國交上に緣ある外國人の中にて親しく知りし者の寫眞を集め居り分けても長髮賊の亂に大功ありし戈登將軍の善き肖像を得んものと心配一方ならざる由なれど其望を充たさんには遠き英國チヤタムある或人の所藏に係るものを寫さしむる外なかるべしと云へり是は將軍が黃色の上衣を着しすべて支那服したる畫像なるよし

○大坂株式取引所の收入金　大坂株式取引所は本年一月來諸株券の賣買盛んなりし爲め收入金非常に多く上半季即ち一月より六月迄の間に收入したる金高は八萬九十一圓廿四錢三厘にして此內より稅金を引去るも純益金の多額なるは實に先年銀貨賣買流行の後には例なき事なり但し株主への配當金額は矢張一株二十五圓に止め置き其他は悉皆積金となすよし

○草鞋旅（第十七）　二十一日午前九時湯本驛に到る平を距る一里三十丁戶數二百內外溫泉場あり浴客多し驛內稍や賑かあり陸運貨物繼立所ありて小名濱まで鐵軌を敷設し馬車にて貨物の運搬を開けり午後一時田部驛に到る湯本を距る一里三十三丁戶數百餘戶住民は大概農業に從事せり三時上田驛に宿泊せり田部を距る一里二十八丁戶數百二十餘戶田部と上田との間に新田坂あり其他は道路平坦警察署の分署あり○二十二日午前六時二十分上田出發鮫川橋を渡り大倉村を經て七時四十分關田驛に到る上田を距る一里七丁、戶數九十餘戶海濱の一村落にして住民過半は漁業に從事し鰯の漁獲多き場處ありと學校は尋常小學のみにて生徒百名に充たず此日須賀川の書肆某氏と上田より同行せしに某氏が勿來關を一見せんとの勸めに從ひ同伴せり關は此村より少しく隔りたる所にして僅かなる迂回なれば步を山間の小徑に轉じて間もなく勿來關に着したり扨て勿來關は今を距る八百年の昔源將軍義家が東夷征伐の折柄此關を通りかゝりたるに時しも春の暮にして櫻花の風に吹かれて散るさまの得も云はれぬ風景に轡を按して暫し佇み名古曾の關の國風を詠せし所あるは誰人も知る古蹟あるが今は昔と事變り通行の人も稀にして寥々たる山巓松樹の下僅に古碑の存するのみ此邊總て風景佳絕、[illegible]す一服の吹煙亦旅中の疲勞を醫するに足れり

夫より本
縣境の木
七里十五
餘戶目下
鷄犬の聲
處あり海
多くは此
も此處に
村を經大
零時五十
たず午後
數七八十
ごよろし
戶數百十
ざる外
せり高等
は隣村荒
あり兩側
水戶治安

○德嶋縣下
四千五百
あらざり
迫りたれ
日に絕えず
年新製物の
なるよし又
比すれば
五貫目の收
は一二箇月
は遁りに安
府下及び地
の色あるも上
影響を蒙る
俵に付以下
六十圓迄中
十圓迄なり

○支那の怪
りけり誰一
出づるとの
らで此程右
初めの二週
れ出しかど
過ぎしが或
れたれ此時
とあせしに
中に埋りけ
思ふ所を穿
書てたりと
心深く善根
んとて其取
沙汰は今尙

○生絲の統
は左の如し
外國輸出高
二百八十
屑物入荷
巴里
第